

Discover Chiba

千葉が誇る

日本一



千葉県PRマスコット
キャラクター チーバくん
千葉県許諾第A3-45

第22回

勝浦海中公園

《今回の日本一》

・海中展望塔の高さ





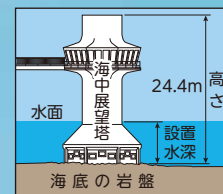
勝浦海中公園内にある「海中展望塔」は 高さ24.4mで日本一!

勝浦海中公園は、千葉県勝浦市にある海中公園で、南房総国定公園のほぼ中央の場所にあります。岸から陸橋でつながったドーム型の建造物は1980年(昭和55年)に完成・オープンした海中展望塔。海底から海上に出ている最上部までの高さは24.4mで、日本にある海中展望塔の中では日本一の高さを誇っています。

南房総国定公園の中で、太平洋の波に浸食された断崖の入り江など、自然が創り出した豊かな造形美を誇る勝浦市鵜原(通称・鵜原理想郷)周辺は、南房総国定公園内で最も特色ある海岸線をもっています。半島の自然や海岸線、そしてそこに生息する動植物までを大切に保存しながら一帯を外房の海洋性レクリエーション拠点にしようと、千葉県が勝浦海中公園センターを設立したのは、1977年(昭和52年)のこと。当時、盛んだった海中公園の誕生としては全国で40番目の誕生でしたが、リアス式海岸に囲まれた優美な海中展望塔の高さでは、みごと日本一となりました。海上部分の海上展望室からは太平洋が一望でき、海底にある海中展望室には24個の窓があり、海中の様子や生息するたくさんの魚たちの姿が見られます。



▲海上展望室から見える風景



国内にある海中展望塔の高さランキング



1位

勝浦海中公園 海中展望塔
勝浦市吉尾
高さ24.4m 設置水深8m
営業開始 1980(昭和55)年



2位

あしずり
足摺海底館 海中公園
高知県土佐清水市三崎
高さ24.3m 設置水深8.8m
営業開始 1972(昭和47)年



3位

玄海海中展望塔
佐賀県唐津市鎮西町
高さ20.4m 設置水深7.3m
営業開始 1974(昭和49)年



4位

白浜海中展望塔(コーラルプリンセス)
和歌山県西牟婁郡白浜町
高さ18m 設置水深8m
営業開始 1988(昭和63)年



5位

ブセナ海中公園 海中展望塔
沖縄県名護市喜瀬
高さ17.8m 設置水深8.2m
営業開始 1970(昭和45)年



6位

串本海中公園 海中展望塔
和歌山県東牟婁郡串本町
高さ14.0m 設置水深7.8m
営業開始 1970(昭和45)年

かつうら海中公園海中展望塔

- 開館時間／午前9時～午後5時(受付4時30分まで)
 - 休館日／年中無休(悪天候の場合、閉館する場合があります)
 - 入館料／高校生以上960円、小・中学生470円、4歳以上の幼児210円
 - 駐車場／170台 乗用車2時間まで200円
- ※くわしくは、オフィシャルWebサイトをご覧ください。
<http://www.katsuura.org/>

●問い合わせ／一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター
TEL.0470-76-2955 ※表示価格は税込

海上から海中までダイナミックな 勝浦の景色をお楽しみください。



(一財)千葉県勝浦海中公園センター
業務係
倉田 清和さん

このあたりは、入り組んだリアス式海岸の景観が美しく、また房総沖を流れる寒流と暖流の影響で特有の海の動植物が育ち、海中の環境が良く保たれてきました。そこで、この貴重な海辺と周辺を融合させた地域を「勝浦海中公園地区」として保護しているところと昭和49年環境

庁から指定され、その公園内の展望施設として誕生したのが海中展望塔です。昭和40年代から60年代初めにかけて全国で名だたる海中展望塔が建設されていますが、ここ勝浦の展望塔が一番高いというのは非常に誇らしいことです。海中展望塔上部の海上展望室からは、太平洋はもちろんのこと八幡岬や勝浦灯台、リアス式海岸などの景勝を望めます。そんな景観を沖合60mから堪能できるというのも、海中展望塔ならではのダイナミックな楽しみ方ではないでしょうか。また、階段を使って



▲にぎやかなイベントの様子がbayfmを通じて放送されました。

海底部分に降りていただくと、海底に向けて作られた24個の窓から季節ごとに違うたくさんの魚たちの遊泳を見ることができます。カゴカキダイやツノダシなどの美しい魚たちに出会える7月～10月と海中の透明度の高い12月～2月前後が見頃です。磯遊びや、海中展望塔からの眺めを楽しんでみたいと、ご家族連れや保育園の遠足、小学校の課外活動などでいらっしゃる皆さんが多いですね。この展望塔がオープンした翌年のゴールデンウィークには、1日で約12,000人のご来場がありました。展望塔の建設には造船技術が採用されていて、頑丈な造りになっています。日々の定期検査に加えて、数年に1度の総合的な大規模点検を行いながら、皆さんが安全で楽しく、美しい勝浦の海中展望をしていただけるよう日々努めています。

かつら海中公園ビジターセンター (海の資料館)

海の生物や勝浦の漁業の歴史、海中公園付近の地層などがパネル展示されていて、校外学習の場にも利用されています。夏休みの7/20から8/31までは「おさかなギャラリー」を開催予定。海中展望塔で見られる魚を原寸大写真で展示したり、勝浦周辺の動植物の種類を紹介。また、ぬりえやパズルコーナーを設けるなど、家族で楽しめるイベントが企画されています。



▲道路に面したエントランス



▲モニター操作で見たい展示を選択



▲海の生物の種類がわかるよ



▲海中展望塔の模型も興味深い

●問い合わせ／一般財団法人 千葉県勝浦海中公園センター
勝浦市吉尾174 TEL.0470-76-2955

海中展望塔の周囲に 住むたくさんの海の 生き物たち!



勝浦の海蝕崖と海岸線の景観を眺めるために造られた海中展望塔は、海岸から沖合60mの地点にあります。海中展望室からは、1年を通じて90種類以上の色鮮やかで珍しい魚が見られます。どんな魚に出会えるでしょう。



▲メジロ(全長10～50cm)
海中展望塔からは10～40cm程度の大きさの群れがよく見られる。黒目の外側が澄んだ青色の美しい魚。



▲スズメダイ(全長15cm程度)
水深30mまでの岩礁地帯に生息。展望塔では夏から秋にかけて稚魚が観察できる。



▲ウツボ(全長80cm程度)
肉食性でどう猛。小魚や甲殻類、頭足類などの小動物を食べる。普段は岩陰に潜んでいるが、イワシの群れが来ると姿を現す。



▲カゴカキダイ(全長8～15cm程度)
沿岸の岩礁に生息し、観賞用としても人気がある。展望塔では水温の高い夏に見られ、10～30匹ほどの群れで泳いでいる。



▲ツノダシ(全長20～25cm)
岩礁やサンゴ礁に生息。背びれがひものように伸びているのが特徴。細長い口で岩やサンゴ礁の割れ目から小エビなどを獲って食べる。



▲イシダイ(全長20～50cm)
白と黒の縞模様が特徴で、展望塔からは10～30cm程度のものが見られる。丈夫な歯で甲殻類や貝、ウニなどを食べる。刺身が美味しい魚。



▲ハコブ(全長10～20cm)
小さなクワの帽子でお馴染みで四角い箱のような姿。色も泳ぐ姿も美しいので、観賞用として人気。敵に襲われると粘液と毒を出して防御する。



▲メバル(全長20～30cm)
主に海藻の多い岩礁に生息。肉食で、小魚や小型の甲殻類を大きな口で捕らえて食べる。「卵胎生」というのは、卵ではなく稚魚の状態から生まれる。



▲ドチザメ(全長1.5m)
大人しい性格で人を襲うことはない。浅い所を好み、岩礁や藻場に現れる。展望塔からもよく泳いだり休んだりしているのが見える。



▲カワハギ(全長15～20cm)
ひし形の面白い姿をした魚。全身が丈夫でザラザラとした皮膚に覆われているが、調理の際は簡単に剥がせるのでこの名前が付いた。丈夫な歯で貝やカニの殻も砕く。

房総の海のこと、いっぱい知ろう!

海の自然体験型“海の博物館”

東京都心からもほど近い場所にありながら、起伏に富んだ美しい自然を保ち続けている千葉県房総半島。その魅力いっぱいの海について学べるようさまざまな展示をしていると同時に、実際に周辺の自然に直接ふれあえる体験型の博物館として誕生したのが「海の博物館」です。館内の展示室には、房総の海の自然を4つのテーマに分け、房総半島の海の特徴や生息している生きものを紹介する「房総の海」コーナー、勝浦・館山・九十九里浜・東京海底谷など房総半島各地の海岸や海底の様子がわかる「さまざまな海の姿」コーナー、博物館周辺の自然を季節ごとに紹介する「博物館をとりまく自然」コーナー、そして、海の生き物観察や実験を行う「海と遊ぼう」コーナーが設けられています。研修室では、「海と遊ぼう」と「房総の海」の



2本の映画も上映しており、子供から大人まで楽しみながら学べます。また、ロビーでは大きなクジラの骨格標本も見ることができます。

一方、体験型のイベントとしては、研究員の案内で野外で生きものの観察を行う「観察会」、「磯・いそ探検隊」、また、普段は公開されていない博物館の裏側を見学する「博物館探検隊」など、その他にも講座や海に関する実験や工作など多彩なプログラムのいずれかが毎月開催されています。事前の申し込みが必要な催事もありますから、お問い合わせの上、ご家族やグループで参加してみませんか。



▲7月19日(土)～8月31日(日)に開催される平成26年度収蔵資料展「フグ・ふぐ大集合」に登場するイシガキフグ(フグのなかま)

- 開館時間／午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- 休館日／毎週月曜日(月曜日が休日の場合その翌日)・年末年始
その他に臨時開館・休館があります。
- 入館料／一般200円、高校生・大学生100円、中学生以下・65歳以上無料
- 駐車場／普通車 2時間まで200円、以降1時間ごとに100円。
(午前8時30分～午後5時15分:年中無休・入庫は4時15分まで)

●問い合わせ／千葉県立中央博物館分館 海の博物館
勝浦市吉尾123 TEL.0470-76-1133

勝浦海中公園周辺で見つけた絶品グルメ&お土産

◎担々麺……………¥800(税込)



海女さんや漁師さんが海で冷えた体を温める食べ物として定着した勝浦タンタンメン。その元祖ともいえる昭和29年創業のオリジナル担々麺。炒めたタマネギと豚挽肉に醤油ベースのスープとラー油が絡み、辛さの中に旨味が広がる絶品の一杯。

●問い合わせ／元祖 勝浦式担々麺 江ざわ
TEL.090-4410-5798
勝浦市白井久保296-8
営業時間／午前11時30分～午後7時
※スープがなくなり次第終了
定休日／月曜日(臨時休業あり)

◎海鮮御膳………¥1,500(税込)



海中展望塔のある雄大な大海原を眺めながら、新鮮な魚介類をいただく至福のひとつ。提供するの「ホテル三日月」直営の食事処。イカ・エビ・マグロ・ハマチなど旬のネタ満載の海鮮丼に、焼き物、小付け、味噌汁と香の物がセットのお得御膳です。

●問い合わせ／
ホテル三日月海中公園 三日月亭
TEL.0470-76-2511
勝浦市吉尾174(勝浦海中公園内)
営業時間／午前9時～午後4時
定休日／年中無休

◎あじのひもの(5枚)¥1,080(税込)



近海で獲れた旬の魚介類が豊富に店頭に並び、どれを買おうか迷うほどの品揃え。今回は、漁港の直営工場加工した新鮮なあじのひものをチョイスしました。出来立てだから脂が乗っていて美味。保冷剤を入れてパッキングしてくれるので持ち帰りも安心です。

南房総勝浦
●問い合わせ／おさかな村
TEL.0120-037-615
勝浦市浜行川134-1
営業時間／午前8時～午後5時
定休日／年中無休



知ってる? 知らない?

●勝浦海中公園周辺 インフォメーション!



勝浦2大名物イベント!

日本三大朝市のひとつ

勝浦朝市



勝浦漁港などで水揚げされた近海の魚介類や地元産の野菜・果物、さらには工芸品などが約70店もの露天に並び、勝浦の朝市。400年以上の歴史があり、石川県の輪島、岐阜県の高山とともに日本の三大朝市と言われています。現在は、水曜日を除く毎日開かれています(1～15日:下本町通り、16日～月末:仲本町通り)。朝6時頃から午前11時頃の開催で年間20万人以上もの人々が集う、勝浦名物のふれあい朝市です。

勝浦の街全体がひなまつり色に!

かつうらビッグひな祭り



全国各地から寄せられた約25,000体もの鮮やかなひな人形が市内各地に飾られ、街中がひと足早くひな祭リムードに染め上がります。開催は、毎年2月下旬から3月上旬まで。特に、遠見岬神社の石段60段に紅い緋毛氈を敷き詰め、その上に1,200体ものひな人形を飾った眺めは圧巻そのもの。夕暮れになるとライトアップされた灯で浮かび上がる人形たちは、雅な趣きを漂わせます。勝浦中央商店街にもひな人形が並びます。

●問い合わせ／勝浦市観光商工課観光商工係
TEL.0470-73-6641
勝浦市新官1343-1

取材協力・写真提供・撮影協力／一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター 勝浦市観光商工課観光商工係 千葉県立中央博物館分館 海の博物館
元祖勝浦式担々麺 江ざわ ホテル三日月 海中公園三日月亭 南房総勝浦おさかな村

2014.7(次回発行)／2014年8月25日)



京葉銀行

ホームページでバックナンバーもご覧いただけます。

京葉銀行 千葉の日本一 検索



この冊子の印刷には、
環境に配慮した植物性インキを
使用しています。